



令和 7 年 1 月 14 日

市政記者クラブ 様

健康福祉局環境薬務課

担当：尾原・毛利（☎972-2651）

オーバードーズ防止啓発を行います！ ～ディフェンス、オーバードーズ。～

近年、一部の青少年の間で市販薬を一度に大量に服用する過量服薬（オーバードーズ、O D）が広がっております。

この度、一般社団法人名古屋市薬剤師会及び名古屋ダイヤモンドドルフィンズ（B. L E A G U E B 1 リーグ所属 プロバスケットボールチーム）とコラボレーションしたオーバードーズ防止啓発を以下のとおり実施しますので、お知らせします。

1 実施内容

名古屋ダイヤモンドドルフィンズに所属する齋藤拓実選手を起用した啓発を以下のとおり行います。

（1）名古屋ダイヤモンドドルフィンズ試合会場での啓発

ア 日時：令和 7 年 1 月 25 日（土）12 時～

イ 場所：ドルフィンズアリーナ（名古屋市中区二の丸 1 番 1 号）

ウ 内容：入場口にて啓発グッズ（オリジナルクリアファイル）を配布
（来場者先着 3,000 名、なくなり次第終了）

<参考>

令和 7 年 1 月 25 日（土）15 時 5 分試合開始（予定）

名古屋ダイヤモンドドルフィンズ 対 大阪エヴェッサ



（2）各種媒体を活用した啓発

ア ポスター

・掲出時期：令和 7 年 1 月 6 日（月）から

・掲出場所：市内中学校、高等学校、大学、専門学校、名古屋市薬剤師会加盟薬局、ドラッグストア 他

イ SNS 広告

・配信媒体：Instagram

・配信時期：令和 7 年 1 月 1 日（水）から 1 月 31 日まで（金）

・配信対象：名古屋市内の 13～29 歳

（裏面あり）

ウ 地下鉄車内広告（横枠）

- ・掲出時期：令和 7 年 1 月 20 日（月）から 1 月 26 日まで（日）
- ・掲出車両：全線（東山線、名城線・名港線の一部車両を除く）

2 その他

（1）一般社団法人名古屋市薬剤師会の活動

名古屋市内で開局している薬剤師とそこに勤務する薬剤師で組織されている職能団体であり、医薬品の適正使用、安全管理の専門職としての職能を生かし、医師、歯科医師等の多職種と連携し、医療・介護サービスを提供する体制の確保を目指す他、地域においても薬物乱用防止活動や健康増進啓発活動にも積極的に取り組んでいます。

（2）名古屋ダイヤモンドドルフィンズの社会貢献活動

名古屋ダイヤモンドドルフィンズは地域への感謝の気持ちとして社会貢献プロジェクト“Dolphins Smile”を実施しています。スポーツの力を活用した Planet（地球を守る）、People（支援が必要な人に手を差し伸べる）、Peace（平和・安心・安全）の3つの分野における「オフコート of 3P」アクションを通して、ドルフィンズコミュニティが笑顔になれるよう、プロスポーツクラブとしての社会的責任を果たします。

オーバードーズをやめられない…

つらい気持ちから逃れたいとき、誰かに相談してみませんか。
一人で抱え込まず、家族やパートナー、友人、専門の相談窓口にご相談下さい。

周りの方ができること

一方的に叱ったり薬を取り上げたりするのではなく、本人の背景や辛さを理解し、受け止め、寄り添うことが重要です。また、自分たちだけで解決しようとせず、専門家のアドバイスを得ることも大事です。一人で抱え込まず、ご相談ください。

※名古屋市では、身近な人の悩みのサインに気づき、声をかけ、話を聴くなど適切な支援につなぐ「ゲートキーパー」の養成研修や、悩みに応じた相談機関を紹介するウェブサイト「こころの絆創膏」の運営といった取組みを行っています。

相談窓口情報サイト

ばんそうこう
「こころの絆創膏」

※ゲートキーパーの取組みについても紹介しています。



「ぴよ吉」 「うさじ」

名古屋市いのちの支援
広報キャラクター ©becco

※ オーバードーズ（OD）とは

薬局やドラッグストアで購入することができる市販薬を含む医薬品を過量服薬することを指します。近年、10代・20代の若い世代を中心に、症状を抑えるためではなく、感覚や気持ちに変化を起こすために大量に服用し、救急搬送される事案が年々増加しています。背景には、家庭や学校等で抱える悩みや不安、生きづらさがあることが多いと言われています。

定められた用量・用法を守らず、短時間に大量の医薬品を服用すると、重篤な意識障害や肝臓・腎臓の障害、呼吸不全を引き起こし、最悪の場合は死の危険もあります。